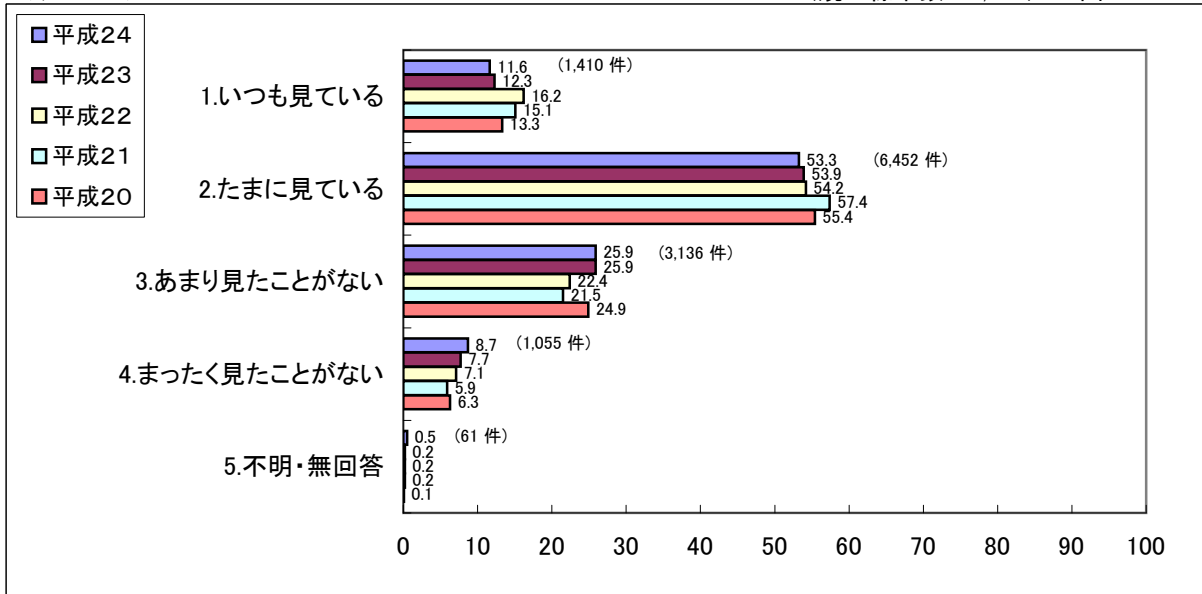


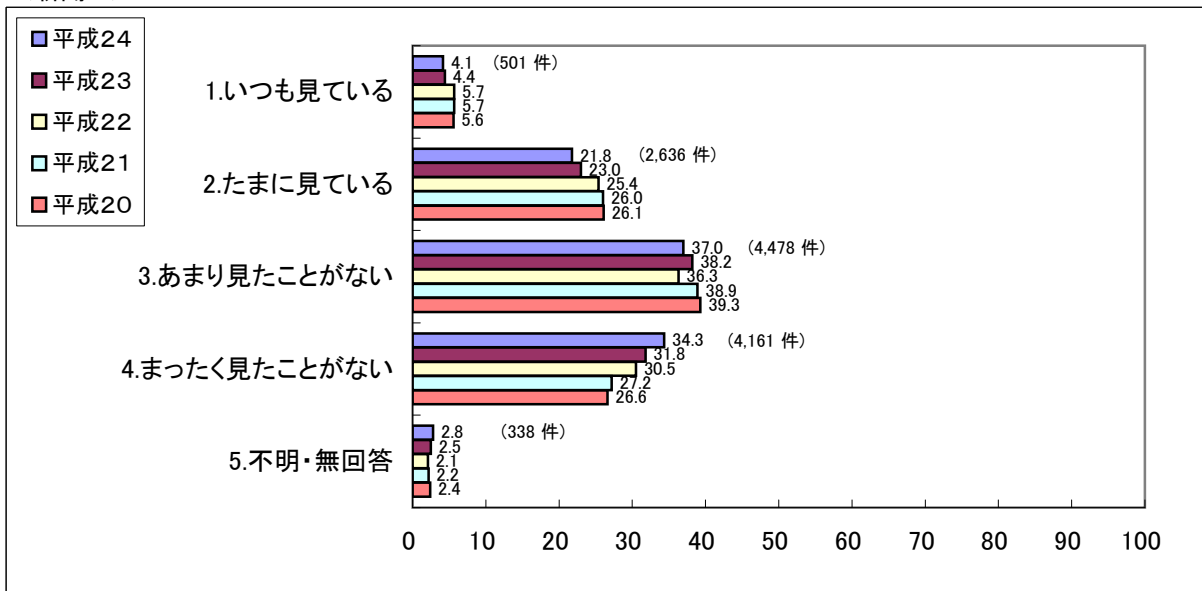
問1. あなたは、選挙が行われているときに、それに関する報道をテレビや新聞で見たことがありますか。
それぞれに当てはまるものを1つ教えてください。

<テレビで>

(規正標本数: 12,114) 単位=%



<新聞で>



○問1

選挙に関する報道をどのメディアで、またどれだけ見ているかを聞く質問です。

<テレビ>

「たまに見ている」(53.3%)が最も多く、次いで「あまり見たことがない」(25.9%)、「いつも見ている」(11.6%)、「まったく見たことがない」(8.7%)の順となりました。また、「いつも見ている」と「たまに見ている」を合わせると64.9%、「あまり見たことがない」と「まったく見たことがない」を合わせると34.6%となりました。

平成20年以降、「いつも見ている」と「たまに見ている」を合わせた数値は減少傾向となっており、また「あまり見たことがない」と「まったく見たことがない」を合わせた数値は増加傾向となっています。

<新聞>

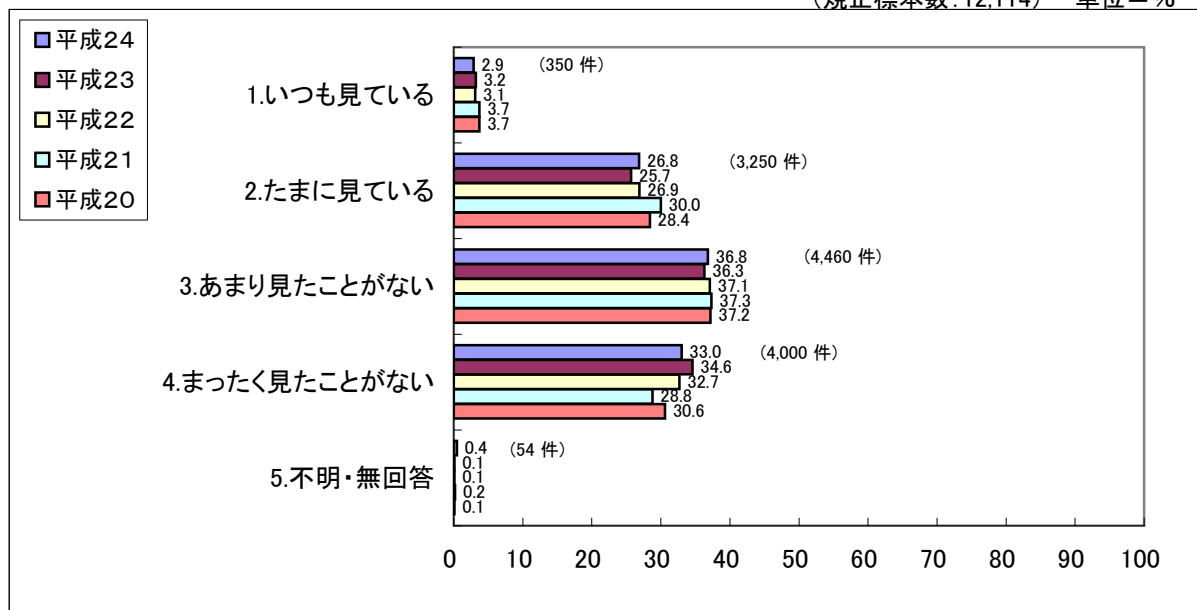
「あまり見たことがない」(37.0%)が最も多く、次いで「まったく見たことがない」(34.3%)、「たまに見ている」(21.8%)、「いつも見ている」(4.1%)の順となりました。また、「いつも見ている」と「たまに見ている」の回答を合わせると25.9%、「あまり見たことがない」と「まったく見たことがない」を合わせると71.3%となりました。

平成20年以降、「いつも見ている」と「たまに見ている」を合わせた数値は減少傾向となっており、また「あまり見たことがない」と「まったく見たことがない」を合わせた数値は増加傾向となっています。

メディア別に比較すると、テレビによる映像メディアの方が新聞による活字メディアよりも、選挙に関する報道への接触度は、はるかに高い結果となっていますが、一方で、全体として選挙報道に対する関心自体は低下傾向にあります。

問2. あなたは、政治家が出演している「日曜討論」「ビートたけしのTVタックル」「朝まで生テレビ」などのテレビ討論番組を見たことがありますか。当てはまるものを1つ教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



○問2

政治に関するテレビ番組をどれだけ見ているかを聞く質問です。個々の番組の関心度を調べるものではなく、政治に対する関心度を間接的に調べることを目的としています。

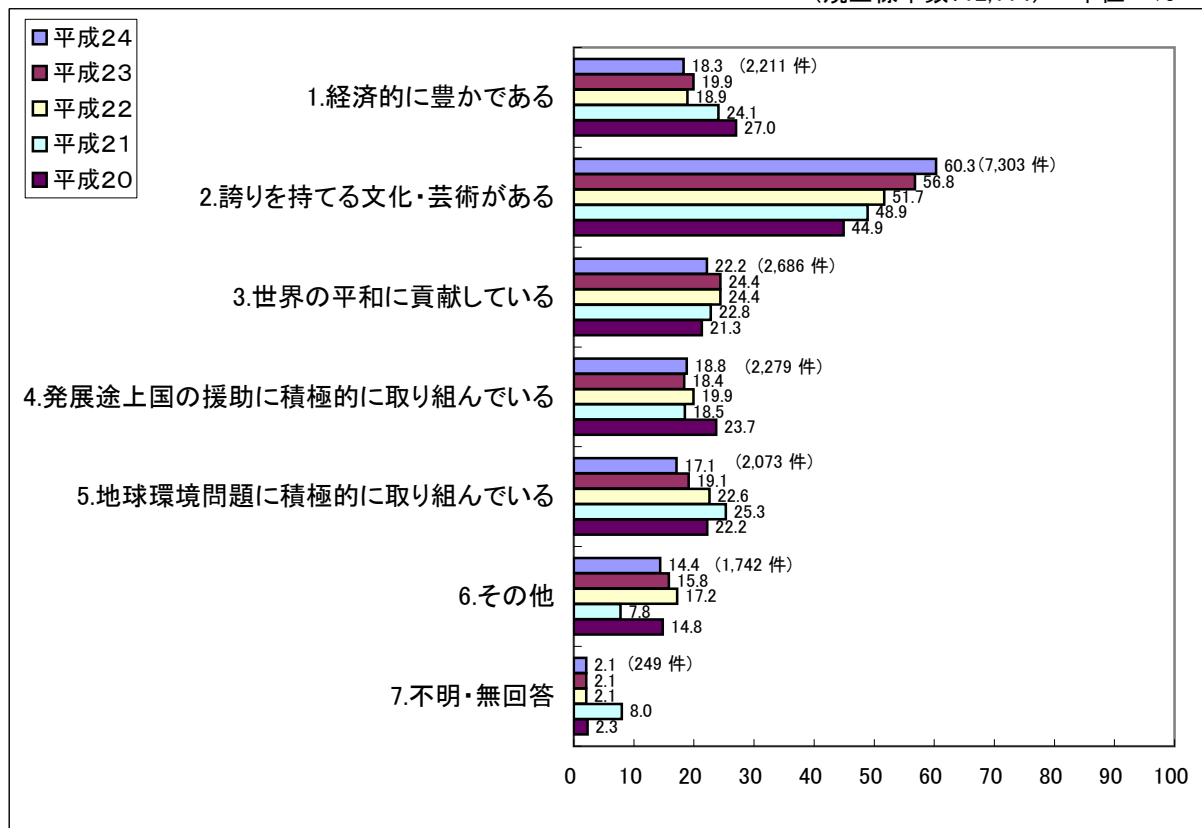
「いつも見ている」と「たまに見ている」の回答を合わせると29.7%、「あまり見たことがない」と「まったく見たことがない」を合わせると69.8%となり、政治家が出演しているテレビ討論番組への関心度はあまり高くないという結果となっています。

平成23年との増減を比較すると、「いつも見ている」と「たまに見ている」を合わせたもので0.8ポイント増加し、「あまり見たことがない」と「まったく見たことがない」を合わせたもので1.1ポイント減少しています。

平成20年以降、「いつも見ている」と「たまに見ている」を合わせた数値は減少傾向となっており、また「あまり見たことがない」と「まったく見たことがない」を合わせた数値は増加傾向となっています。

問3. あなたは、今の日本についてどう思いますか。あなたの考えに近いものを2つ以内で教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



○問3

今の日本に関して高校生がどのように考えているかを質問しました。

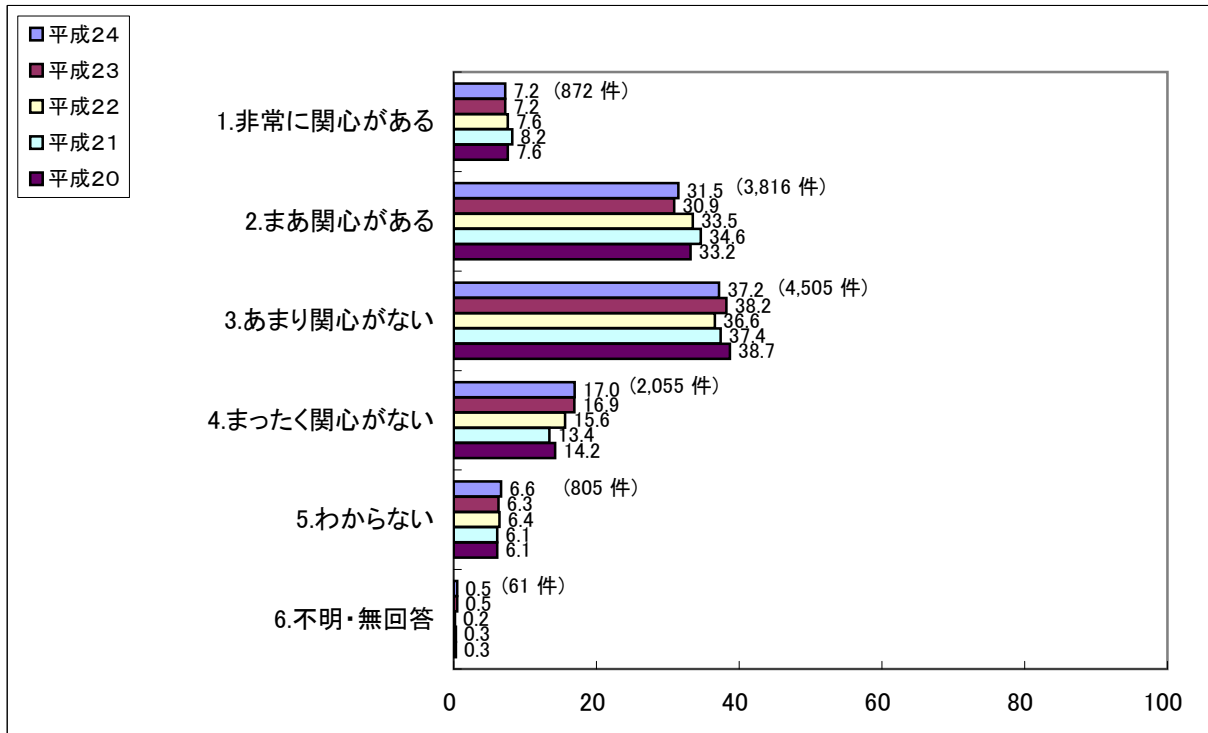
「誇りを持てる文化・芸術がある」(60.3%)が最も多く、次いで「世界の平和に貢献している」(22.2%)、「発展途上国の援助に積極的に取り組んでいる」(18.8%)と続いています。

平成23年と比較すると「経済的に豊かである」が1.6ポイント減少して全体で4番目となり、代わって「発展途上国の援助に積極的に取り組んでいる」が0.4ポイント増加し3番目に上昇しています。

平成20年からの変化を見ると、「誇りを持てる文化・芸術がある」が増加傾向、「経済的に豊かである」が減少傾向にあります。

問4. あなたは、今の日本の政治にどのくらい関心がありますか。あなたの考えに近いものを1つ教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



○問4

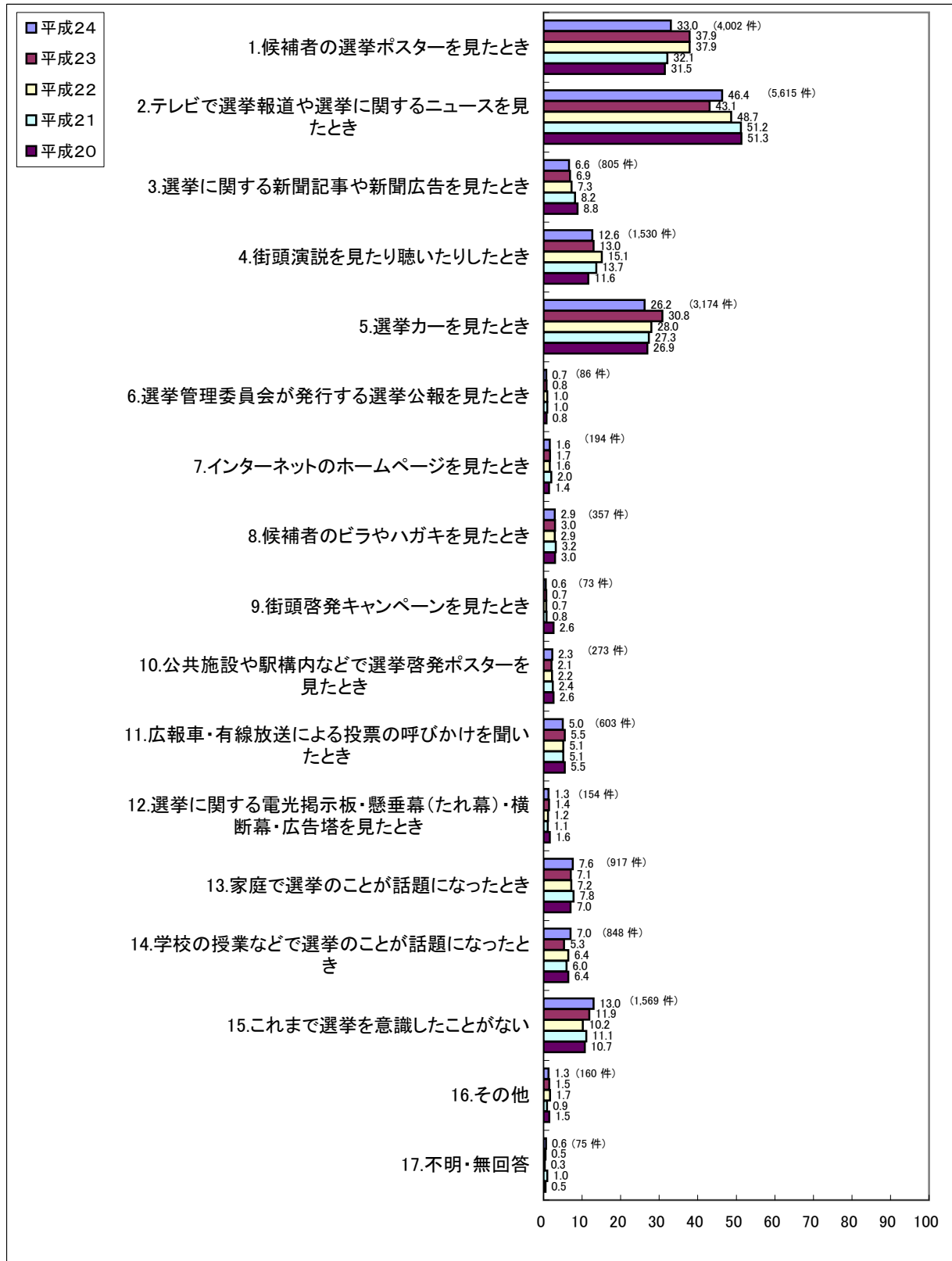
今の日本の政治に対する関心度について質問しました。

「あまり関心がない」(37.2%)が最も多く、「まあ関心がある」(31.5%)、「まったく関心がない」(17.0%)、「非常に関心がある」(7.2%)の順となっています。「非常に関心がある」と「まあ関心がある」を合わせると38.7%、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせると54.2%となりました。

平成20年からの変化を見ると、「非常に関心がある」と「まあ関心がある」を合わせた数値がやや減少傾向にあり、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた数値は50%台を推移しています。

問5. あなたは、これまで特にどういうときに選挙を意識しましたか。当てはまるものを2つ以内で教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



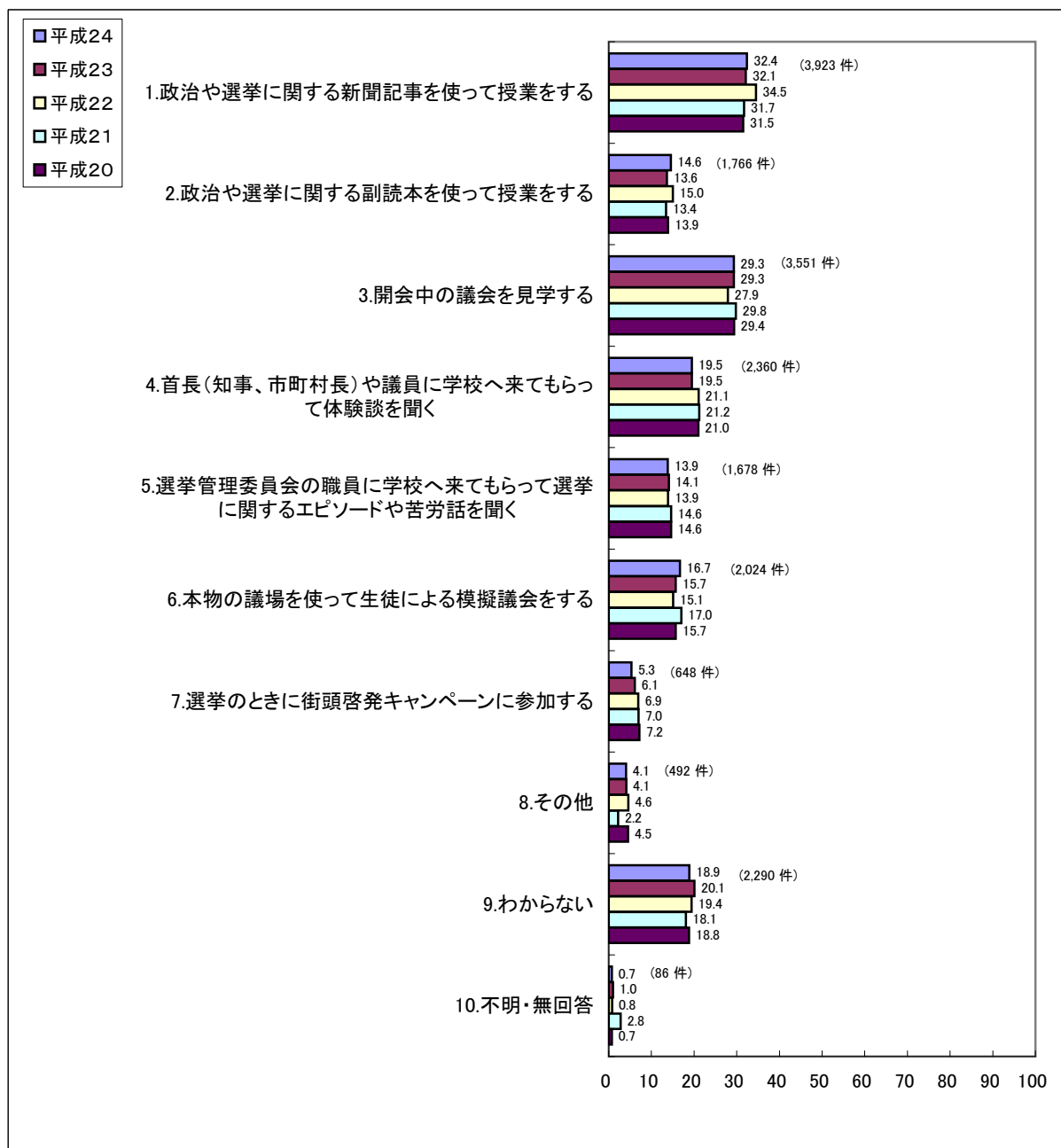
○問5

これまで特にどういうときに選挙を意識したかを質問したところ、「テレビで選挙報道や選挙に関するニュースを見たとき」(46.4%)が最も多く、次いで「候補者の選挙ポスターを見たとき」(33.0%)、「選挙カーを見たとき」(26.2%)の順となっています。

平成23年との増減を比較すると「これまで選挙を意識したことがない」「テレビで選挙報道や選挙に関するニュースを見たとき」でポイント増加し、「候補者の選挙ポスターを見たとき」「選挙カーを見たとき」「街頭演説を見たり聴いたりしたとき」で減少していますが、全体としては過去と同様の結果となりました。

問6. 高校生が政治や選挙に関心を持つためには、何をすればよいと思いますか。
あなたの考えに近いものを2つ以内で教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位 = %

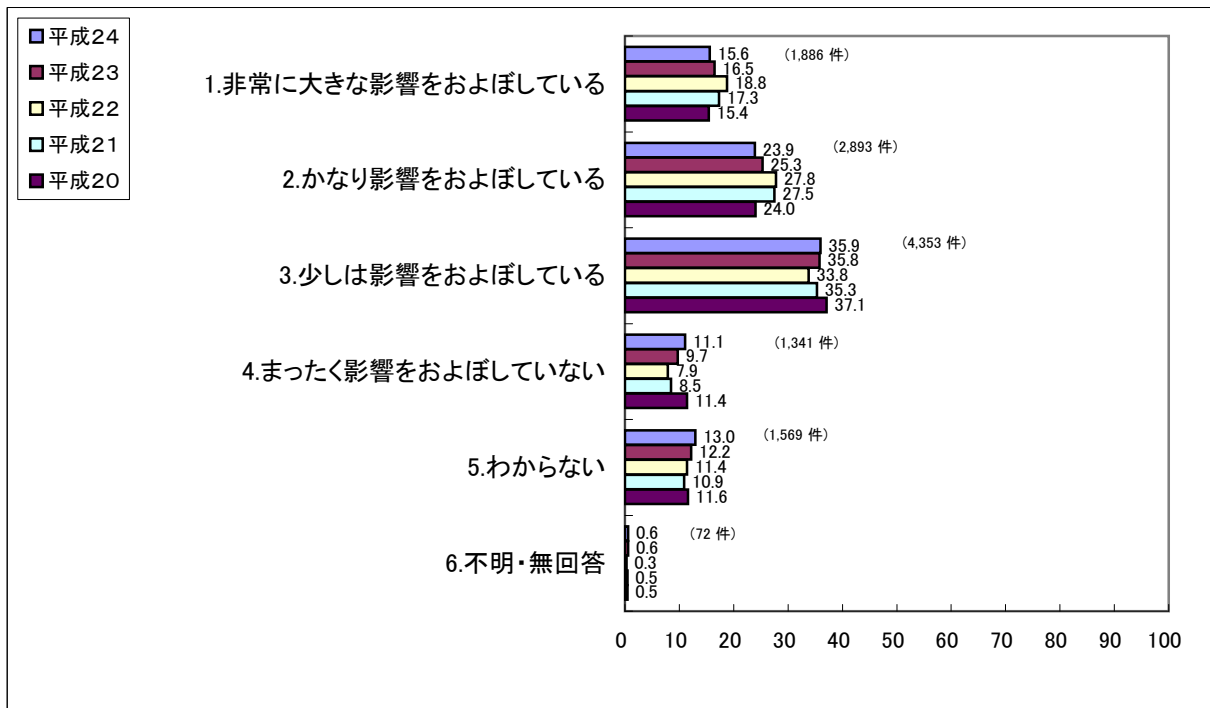


○問6

高校生が政治や選挙に関心を持つためには何をすればよいと思うかについて質問しました。「政治や選挙に関する新聞記事を使って授業をする」(32.4%)が最も多く、次いで「開会中の議会を見学する」(29.3%)、「首長(知事、市町村長)や議員に学校へ来てもらって体験談を聞く」(19.5%)と続いています。平成20年以降と比較すると、全体的に2ポイント程度の増減はありますが、毎年ほぼ同様の結果となっています。

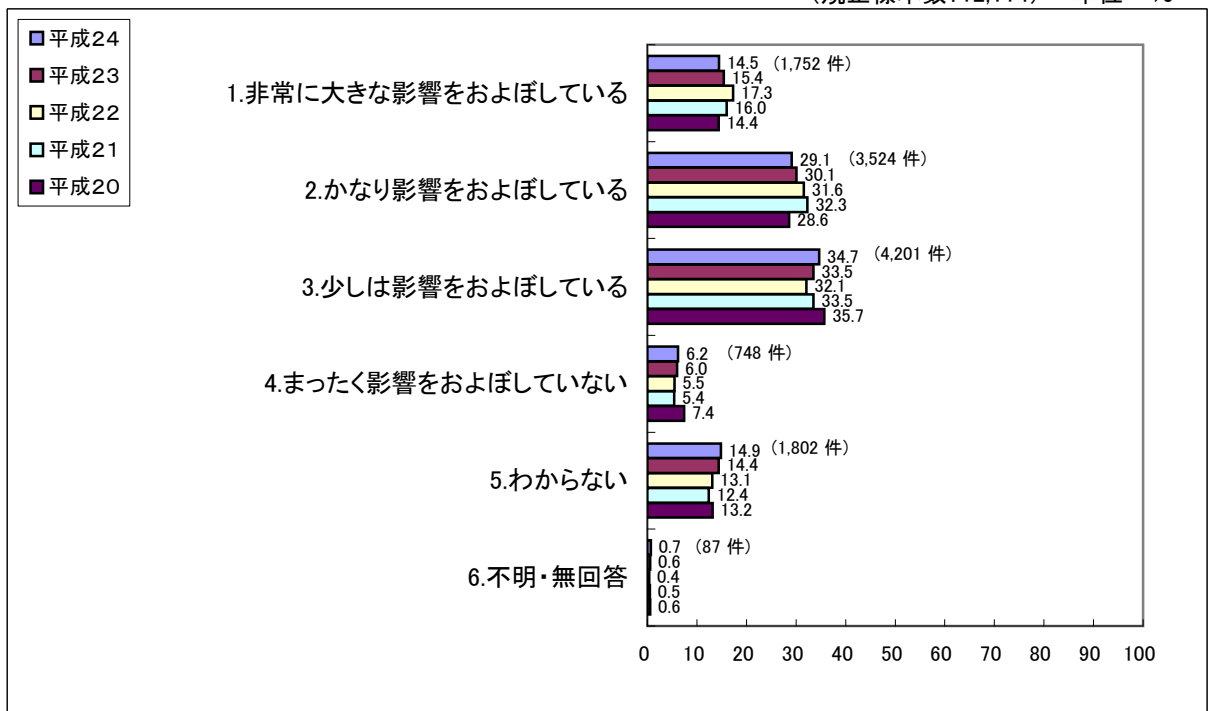
問7(1). 国会議員選挙のときに、国民が投票することは、国の政治にどの程度の影響をおよぼしていると思いますか。
あなたの考えに近いものを1つ教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



問7(2). 県知事・県議会議員選挙のときに、県民が投票することは、県の行政にどの程度の影響をおよぼしていると思いますか。
あなたの考えに近いものを1つ教えてください。

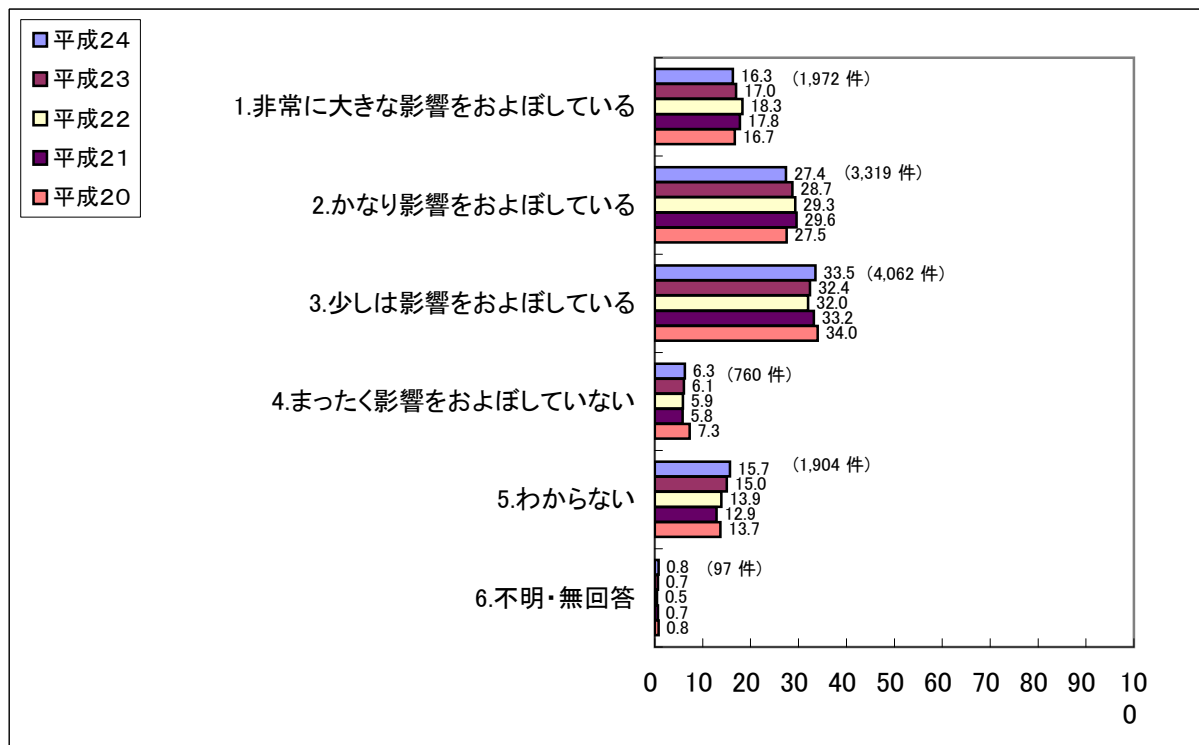
(規正標本数: 12,114) 単位=%



問7(3). 市町長・市町議会議員選挙のときに、住民が投票することは、市町の行政にどの程度の影響をおよぼしていると思いますか。

あなたの考えに近いものを1つ教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



○問7(1)、(2)、(3)

国会議員選挙、県知事・県議会議員選挙および市町長・市町議会議員選挙の時の投票が、国、県、市町の政治・行政にそれぞれ及ぼす影響度について質問しました。

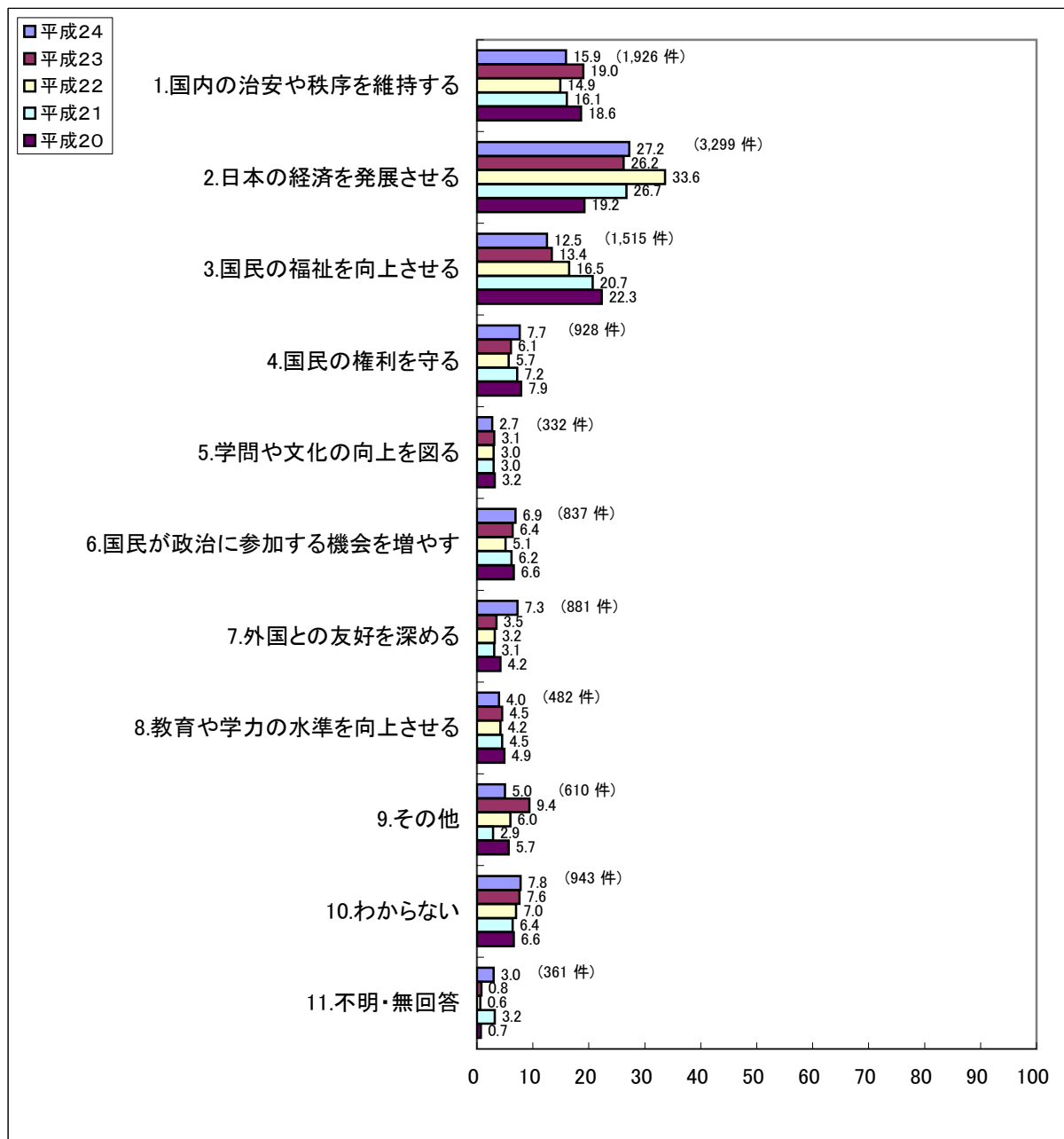
国、県、市町それぞれで、「少しは影響をおよぼしている」が最も多く、次いで「かなり影響をおよぼしている」、「非常に大きな影響をおよぼしている」、「まったく影響をおよぼしていない」の順となりました。

また、「非常に大きな影響をおよぼしている」、「かなり影響をおよぼしている」を合わせると、国で39.5%、県で43.6%、市町で43.7%となり、国会議員選挙と比べると住民にとって身近な地方自治体の選挙の方が投票が政治や行政におよぼす影響度が大きいと感じているという特徴が見られます。

なお、平成20年以降と比較すると、全体的には同様の傾向となっています。

問8. 今、日本の政治が、取り組まなければならない**いちばん重要なこと**がらは、何でしょうか。
あなたの考えに近いものを1つ教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



○問8

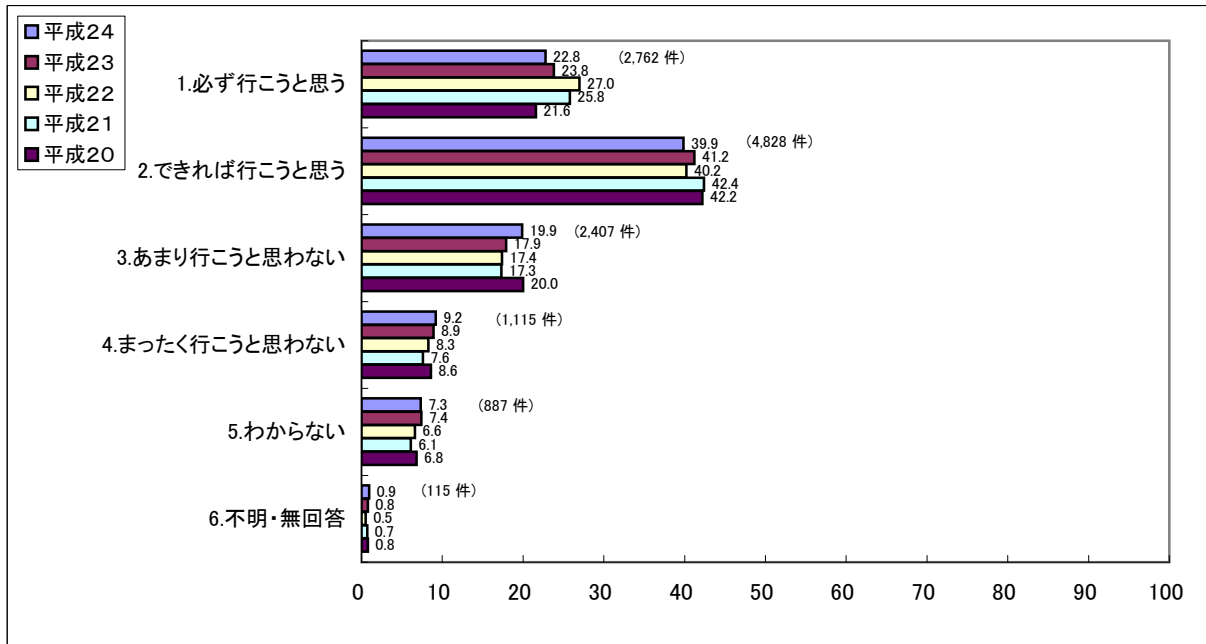
今、日本の政治が取り組むべき課題について質問しました。

「日本の経済を発展させる」(27.2%)が最も多く、次いで「国内の治安や秩序を維持する」(15.9%)、「国民の福祉を向上させる」(12.5%)と続いています。

平成23年との増減を比較すると、「日本の経済を発展させる」が1.0ポイント増加、「国内の治安や秩序を維持する」が3.1ポイント減少、「国民の福祉を向上させる」が0.9ポイント減少しました。

平成20年からの変化を見ると、「国民の福祉を向上させる」が年々減少し、平成20年と平成24年を比較すると10ポイント近く減少しています。

問9. あなたは、選挙権があれば投票に行こうと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ教えてください。
 (規正標本数: 12,114) 単位=%

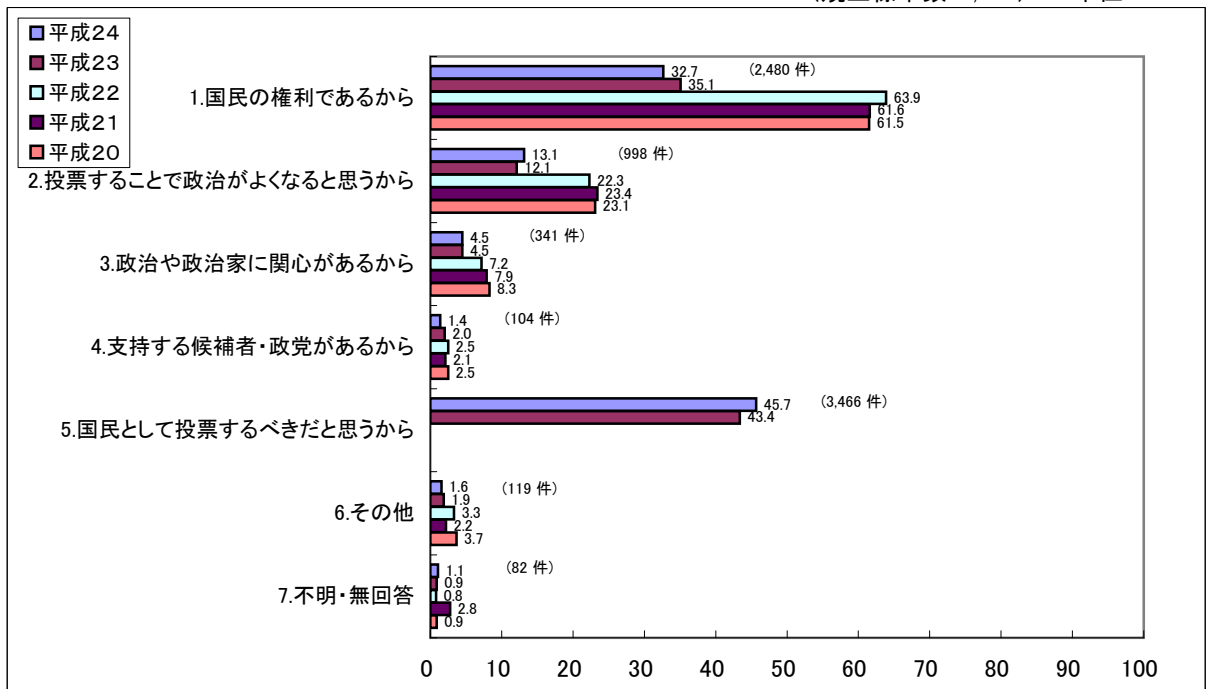


○問9

今もし選挙権があれば、投票に行こうと思うかどうかについて質問したところ、「できれば行こうと思う」(39.9%)が最も多く、次いで「必ず行こうと思う」(22.8%)、「あまり行こうと思わない」(19.9%)、「まったく行こうと思わない」(9.2%)の順となりました。また、「必ず行こうと思う」と「できれば行こうと思う」を合わせると62.7%、「あまり行こうと思わない」と「まったく行こうと思わない」を合わせると29.1%となりました。平成20年以降は、「必ず行こうと思う」と「できれば行こうと思う」を合わせた数値が減少傾向である一方、「あまり行こうと思わない」と「まったく行こうと思わない」を合わせた数値は増加傾向となっています。

問10(1). 問9で1または2と答えた方に質問します。なぜ、投票に行こうと思ったのですか。
 あなたの考えに近いものを1つ教えてください。

(規正標本数: 7,590) 単位=%



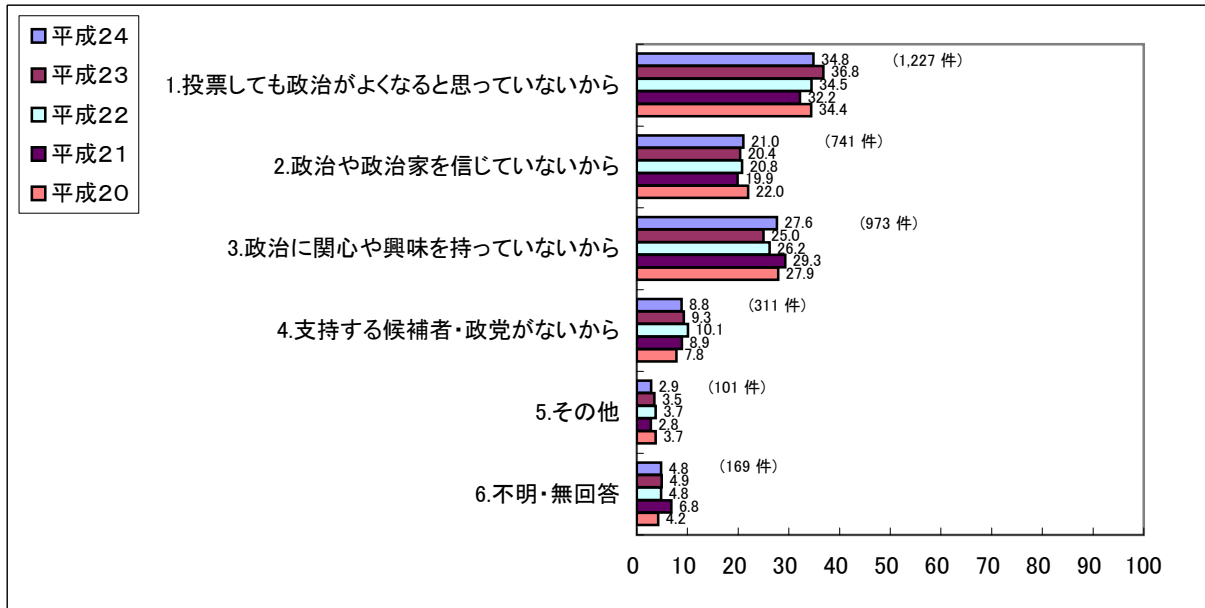
○問10(1)

問9で今もし選挙権があれば、投票に「必ず行こうと思う」または「できれば行こうと思う」と回答した理由を問う質問です。「国民として投票するべきだと思うから」(45.7%)が最も多く、次いで「国民の権利であるから」(32.7%)、「投票することで政治がよくなると思うから」(13.1%)、「政治や政治家に関心があるから」(4.5%)、「支持する候補者・政党があるから」(1.4%)の順となりました。

※回答「5. 国民として投票するべきだと思うから」については、平成23年追加

問10(2). 問9で3または4と答えた方に質問します。なぜ、投票に行こうと思わないのですか。
あなたの考えに近いものを1つ答えてください。

(規正標本数: 3,522) 単位 = %



○問10(2)

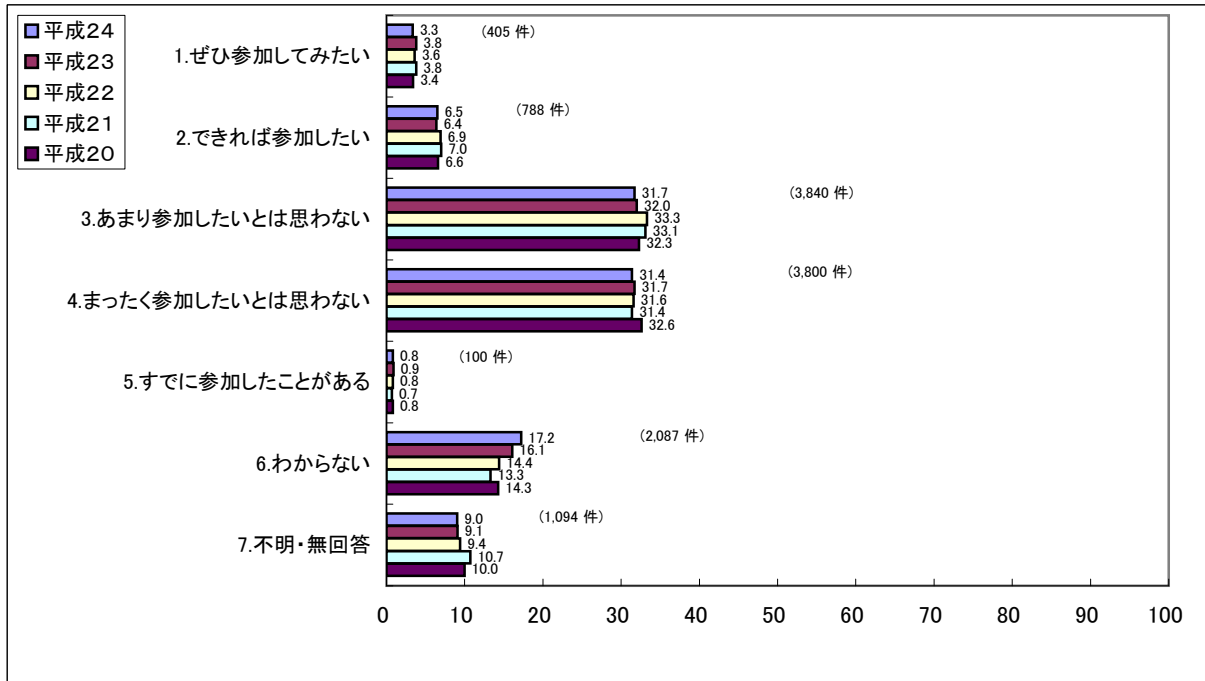
問9で今もし選挙権があれば、投票に「あまり行こうと思わない」または「まったく行こうと思わない」と回答した理由を問う質問です。

「投票しても政治がよくなると思っていないから」(34.8%)が最も多く、次いで「政治に関心や興味を持っていないから」(27.6%)、「政治や政治家を信じていないから」(21.0%)、「支持する候補者・政党がないから」(8.8%)の順となりました。

平成23年との増減を比較すると「投票しても政治がよくなると思っていないから」「支持する候補者・政党がないから」が減少し、「政治や政治家を信じていないから」「政治に関心や興味を持っていないから」が増加しています。

問11. あなたは、選挙のとき街頭啓発キャンペーンに参加したいと思いますか。
あなたの考えに近いものを1つ答えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位 = %



○問11

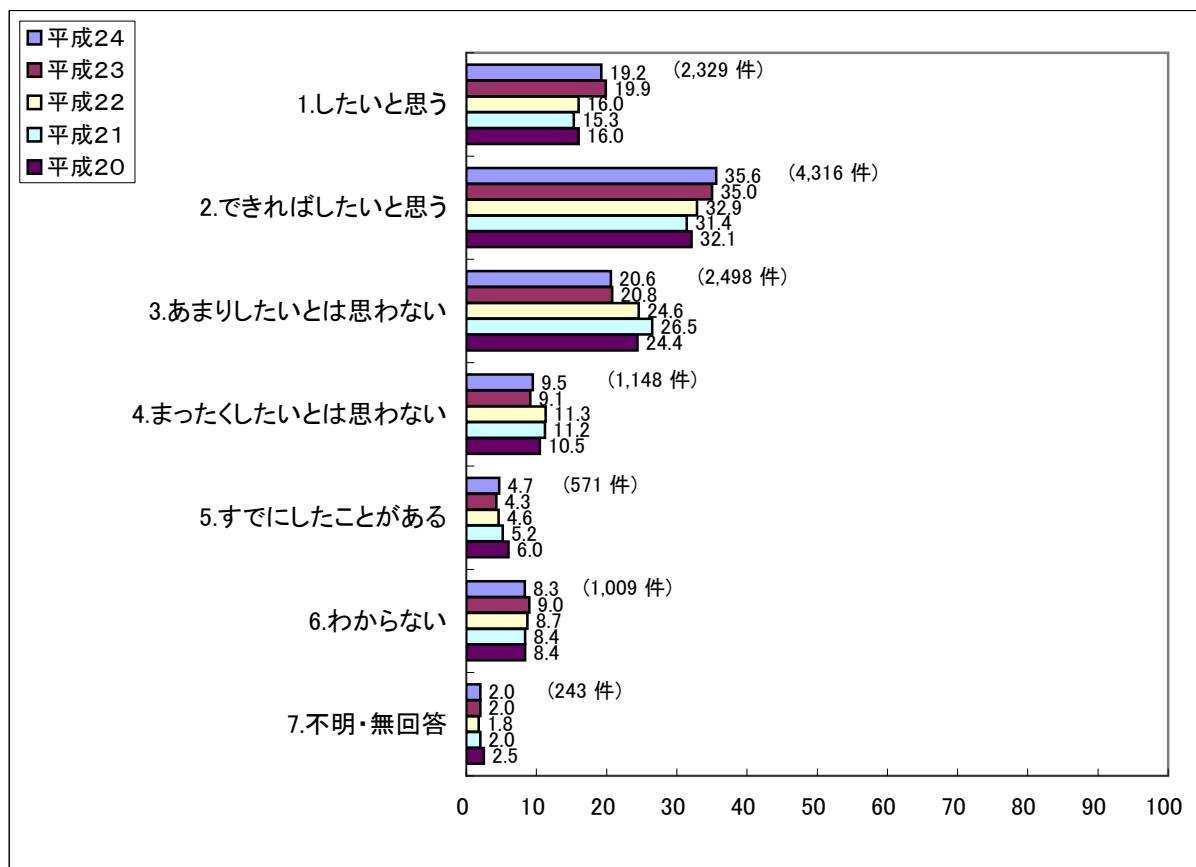
街頭啓発キャンペーンへの参加について質問したところ、「あまり参加したいとは思わない」(31.7%)が最も多く、次いで「まったく参加したいとは思わない」(31.4%)と二つの回答で半数以上となっており、以下「できれば参加したい」(6.5%)、「ぜひ参加してみたい」(3.3%)の順となりました。

また、「ぜひ参加してみたい」と「できれば参加したい」を合わせると9.8%、「あまり参加したいとは思わない」と「まったく参加したいとは思わない」を合わせると63.1%となりました。

平成20年からの変化を見ると、ほとんど数値の変化はなく例年と同様の傾向となりました。

問12. あなたは、機会があればボランティア活動(選挙に関係しない活動でも)をしたいと思いますか。
あなたの考えに近いものを1つ教えてください。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



○問12

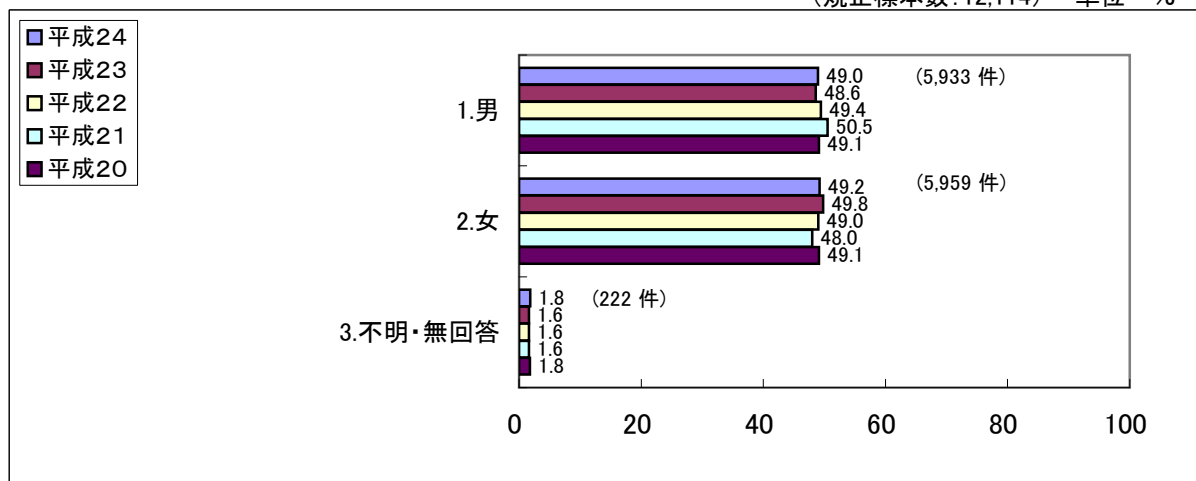
ボランティア活動への参加意識についての質問をしたところ、「できればしたいと思う」(35.6%)が最も多く、次いで「あまりしたいとは思わない」(20.6%)、「したいと思う」(19.2%)、「まったくしたいとは思わない」(9.5%)の順となりました。

「したいと思う」と「できればしたいと思う」を合わせると54.8%となり、「あまりしたいとは思わない」と「まったくしたいとは思わない」を合わせると30.1%となりました。

平成20年以降は、「したいと思う」と「できればしたいと思う」を合わせた数値が引き続き増加傾向であり、「あまりしたいとは思わない」と「まったくしたいとは思わない」を合わせた数値が減少傾向となっています。

問13. あなたの性別は。

(規正標本数: 12,114) 単位=%



問14. あなたのお住まいはどこですか。

(規正標本数: 12,114) 単位=%

